

ボタンを押すだけ楽々電動昇降(ダブルモーター)



左右2つのモーターで振動少なく安定した昇降が可能です。

■昇降ボタン 「↑」上昇ボタン。「↓」下降ボタン。押し続けている間可動します。

■高さ登録ボタン 3つまで高さの登録ができるメモリー機能。登録したい高さのときに「M」ボタンを押し、続けて登録したい番号のボタン、「1」「2」「3」のいずれかを押しとその番号へ登録ができます。呼び出しは番号ボタンを押すだけです。

■アラーム機能(座りすぎ通知機能)

座りすぎによる身体への負担を予防するための、座りすぎ通知機能です。初期設定は45分になっています。1分から99分の範囲で設定が可能です。

簡単組み立て



脚部を取り付けて、コードを差し込むだけの簡単組み立て。電源などのケーブルはあらかじめ固定してあります。

アジャスター付き



デスクが傾斜している場合に、脚端のアジャスターで調整することができます。

ドリンク&ヘッドホンホルダー付属



天板脇のスペースに取付けできるクランプ式の、「ドリンク&ヘッドホンホルダー」を付属。取っ手の付いたマグカップも置けるタイプです。※ドリンク以外のものを置かないでください。※フック部分耐荷重3kg

昇降操作時のご注意

- 壁面や周辺に障害となる物がある場合は、3cm以上離して設置してください。
- 天板昇降の可動範囲に障害物があるときは、取り除いてから操作を行ってください。
- 昇降操作中は、支柱などの可動部には絶対に触れないでください。
- 電源ケーブルなどが昇降時に、デスクや周辺の物に引っ掛かり転倒などしないようご注意ください。

■電動昇降デスクは、1年間の製品保証対象製品です。

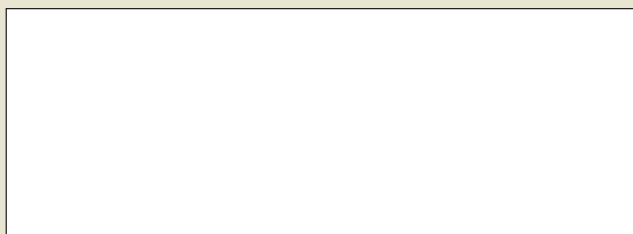
小島工芸 小島工芸 東京ショールーム
since 1886 〒133-0044 東京都江戸川区本一色3-13-3
Tel:03-3652-3191 Fax:03-3674-2020

E-mail toiwase@e-kojima.co.jp URL https://www.e-kojima.co.jp/
公式facebook https://www.facebook.com/kojima.jp

「安全+安心+環境」に配慮した国内生産家具(チェア・ベッド、灯具は除く)

小島工芸は(一社)日本家具産業振興会の国産家具事業者認定企業です。	
認定基準(概要)	
1.国産家具基準	原材料を除き、家具の部分品の生産以降の工程を日本国内で行った製品であること
2.品質基準	JIS(日本工業規格)などを参考として家具の安全性などの目安を定めた本会の指針に適合していること
3.室内環境基準	地震の時の備えを含めた安全面の取扱上の注意事項を取説説明書などに記載していること
4.木材基準	ホルムアルデヒドの放散量が少ない原材料などを使うこととした本会の「シックハウス対策」に適合していること
5.保護基準	本家具の場合、合志木材供給事業者であること、または森林認証制度におけるCOCの認証を受けていること
6.モラル基準	ア、修理およびメンテナンスに際してのこと イ、家具を使用して方が一の事故が起きたときに対応できるように、PL保険(生産物賠償責任保険)に加入していること 他社の実用新案や特許、デザインなどをまねたり、勝手に使ったりしないこと

- 寸法表示はすべてmm単位です。また表示より多少の誤差が生じる場合がありますので、ご了承ください。
- 商品写真に使用している照明器具・小道具等の装飾品は、価格には含まれておりません。
- 製品の仕様および価格は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 印刷の都合上、色柄は実物と多少異なる事があります。
- このカタログの消費税は、令和6年6月現在のものを適用しております。



電動昇降デスク JDEシリーズ/C5Eシリーズ



ボタンを押すだけ、自分にぴったりの高さで快適デスクワーク。

在宅ワークなどで働く環境がかわり、長時間同じ姿勢で作業を続けることで、疲労や肩こり・腰痛などの身体の不調を感じる場合があります。

電動昇降デスクは、「自分に合った高さ」、「立って作業ができる高さ」、「作業内容に合わせた高さ」にボタンひとつで簡単に調整できるので、自分にあった環境にすることが可能です。



JDEシリーズ

- 天板と脚の組み合わせで全8種のカラーバリエーション
- 奥行60cm
- スライドトレイ付き

幅サイズオーダー対応

幅120,130,140,150cm 4サイズ



C5Eシリーズ

- 奥行のあるデスクで快適作業
- 脚のカラーはブラック・ホワイトから選べます

幅、奥行サイズオーダー対応

幅120,130,140,150cm 4サイズ
奥行69,74,79cm 3サイズ

小島工芸
since 1886